

2026 年度ゼミ紹介

ゼミ担当者名	鈴木 浩太	研究室	4-418
ゼミで研究する学問分野	神経発達症、心理学、認知神経科学		
ゼミの内容	科学的根拠に基づいて、子どもを支援することは重要である。本研究室では、神経発達症、心理学、認知神経科学に関わる様々なトピックを科学的根拠に基づいて研究している。ゼミでは、研究法の学習、文献購読、研究の実施を通して、神経発達症や心理学に関する専門的知識を習得していく。		
卒業研究の題目(例)	・ゲーム・インターネットの使用習慣が生活習慣と登校意欲に与える影響 ・“いい先生”イメージがスティグマに与える影響		
ゼミの特徴 (学生の指導方針・ゼミの運営方法、行事など)	本研究室では、文献研究、調査、インタビュー、認知実験、生理計測等の多様な研究法を用いている。ほとんどの研究テーマが対応可能である。 基本的な流れ 「5 セメ：発達障害について」→「6 セメ：文献購読・研究計画の作成」→「7 セメ：研究の実施・解析」→「8 セメ：論文の執筆」のスケジュールでゼミを進めていく予定である。		
このような学生を募ります	私自身も新しいことにチャレンジしたいと思っている。面白いテーマを持っている学生を歓迎する。実験・調査研究に興味のある方が望ましい。		
訪問できる日時	ktsuzuki@shitennoji.ac.jp にご連絡ください。 以下の時間が空いています。 https://kotasuzukilab.com/schedule/		